



「共育」への環境づくりとして、父母の会による絵本の読み聞かせ会を始めた浦幌幼稚園。

浦幌幼稚園で
取組む
「共育」

ゆつくりと、じつじつと、一人ひとりと向き合い
親と子、大人と子ども、子どもたちと先生、一緒になって、
共に成長できる環境づくりを目指して

父母の会が絵本の読み聞かせ

浦幌幼稚園の父母の会（佐藤由紀枝会長）は、5月から幼稚園、父母、子どもたちが共に成長できる「共育」への環境づくりの一環として、月々3回のペースで絵本の読み聞かせ会を開催しています。

「共育」という言葉は、国語辞典にも載っていません。「共育」は、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちだけではなく、子育てや子どもたちとの関わりの中で、「親も、先生も、地域の人たちも、それぞれが共に学び、いっしょに育っていきこう」という考え方です。

子どもたちを取り巻く環境は年々複雑化し、さまざまな問題が起こっています。地域の大人として私たちは何ができるで

しょうか。ぜひ、考えてみてください。自分が地域の子どもに何をしてあげられるのかを――。

初めての読み聞かせ会

お遊戯室に集まる園児たちを前に、いつもとちよつと違うママたち。何が始まるの？期待のまなざしで見つめられるなか、青虫がチヨウになるまでの絵本「はらぺこあおむし」の朗読が始まりました。

お母さんの手には、食いしん坊の青虫。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日には梨をふたつ……。毎日もりもりと何でも食べつつ、土曜日には食べ過ぎてお腹を壊してしまいます。青虫はすっかりふとつちよになり、

さなぎへと変化します。そしてとうとう、きれいなちようちよに変身します。

園児たちは、真剣な表情で絵本に見入り、うなずいたり、楽しそうです。読み終えると「お腹がぺこぺこだった青虫は何を食べたの」と問い掛けられ、「チヨコレート」、「アイスクリーム」などと大きな声で答え、大はしゃぎでした。



オストメイト対応トイレ の設置

平成16年町議会第3回定例会において、国道等の駐車場トイレにオストメイト対応トイレの設備の必要性について質問があり、町として国道38号線東山駐車場のトイレ設置者である帯広開発建設部に対し要望していたところ、この度、設置されることになりました。

設置時期は、帯広開発建設部帯広道路事務所において、近く、工事設計及び発注がされる予定です。

学校給食の一時休止

5月31日、学校給食センターの蒸気ボイラー送風機が故障し、蒸気釜での調理及び食器・食缶の殺菌消毒が不能な状態となりました。

学校給食の休止期間は、6月1日から3日の3日間でしたが、6月1日はパンと牛乳、2日と3日は牛乳のみを配送し、主食または副食は、各家庭に
対応いただきました。

故障した蒸気ボイラーは6月4日

に修繕が終わり、6日の給食から通常どおりの業務を再開することができました。

車両横転事故

5月27日、防火水槽周辺整備のためダンプ車輛による砂利運搬作業を実施していたところ、ダンプの荷台を上げ、同所に砂利を降ろす際に、地面の傾斜地とあいまって車輛が右側に傾き横転する自損事故を起こしました。幸いにして人的被害は無く、車輛の

右側の破損部分については、保険対応による修理の手続きを進めています。

弔慰基準の変更

町議会第1回定例会の平成17年度予算審議において、表彰条例の見直しにより本年度から開拓功労者表彰をとりやめるのに併せ、事務の簡素化の観点も含め、町が行う弔慰は、原則、弔辞または弔文とし、弔辞についてはごく一部の方のみを対象とし、弔文を全員にお渡しする旨の説明をさせて

いただき、4月1日から実施したところです。

しかしながら、地域から弔辞の再開について多くの意見、要望が寄せられたことから、弔慰規則を改正し、弔辞を贈る対象者に表彰条例に基づく被表彰者及び65歳以上の町民の方を追加し、4月15日から以前同様に弔辞を行っていきます。

また、4月15日以前にお亡くなりになられた方の遺族の方に対しましては、別途、弔問させていただきました。弔辞を贈呈させていただきました。

土地開発公社の清算

浦幌町土地開発公社の清算については、町議会第1回定例会において、公社解散の議決をいただき、その後、北海道知事の認可を受け、正式に解散となりました。

本定例会に報告案件として提出していますが、浦幌町一般会計へ残余金として、1千353万4千494円が帰属されています。

なお、南町宅地分譲地7区画については、町の一般会計で今後も販売を継続していきたいと思っています。

URAHORO TOWN COUNCIL

6月定例浦幌町議会

学校給食の一時休止など5件を

行政報告



平成17年6月定例町議会が6月13日から20日までの6日間の日程で開かれました。